

リシャル・ジョフロワによる新しい日本酒ブランド「IWA」誕生 最初のリリースとなる日本酒「IWA 5」を発売

このたび株式会社白岩より、1000年の歴史を持つ日本酒の物語に新たな一章を刻む日本酒 IWA 5 を発売いたします。IWA 5 は、28年にわたり5代目醸造最高責任者としてドン ペリニヨン を率いたリシャル・ジョフロワにより、日本酒にとって画期的な手法である卓越したブレンド技術を用いて誕生しました。世界基準かつ真の日本酒であるIWA 5は日本に深く根付き、伝統的な技法を用いて富山の地でつくられています。



ジョフロワは、IWAに新しい調和を探求しながら、プレステージと呼ぶに相応しい日本酒を追い求めました。五感に響く日本酒らしい日本酒、それでいて包容力があり、個性が溢れる、輝きに満ちた日本酒。そんな相反する要素を併せ持つ日本酒は、単一の日本酒では表現しえません。IWA 5は、既存の精米歩合を基準とした価値観を超え、様々な要素を組み合わせることで出来上がった複数の日本酒をブレンドすることにより、さらに深いハーモニーを生みだしました。オーケストラのように緻密な構成のもと、様々な醸造の技法を駆使し、異なる産地で栽培された山田錦、雄町、五百万石の酒米、5種類の酵母がIWA 5の旋律を奏でます。

「ブレンドとは多くの楽器をコントロールしながら演奏するようなものです。可能性を見極め、追求に値するエレメントを抽出し、心地良い音楽に仕立てていく。全てがそこにあります。然るべきところに。然るべき瞬間に。」と、ジョフロワは語っています。

IWA は、その原点とも言える富山県立山町白岩に深く根ざしています。ジョフロワは、世界有数の深雪地であり、日本アルプスが磨いた清らかな水が流れ、10ヘクタールの広大な稲田が広がるこの地を、IWA誕生の地として選びました。会社名「白岩」及びブランド名「IWA（岩）」は、この土地から名付けられました。

IWA は、情熱と創造性に溢れる人々によって命が吹き込まれました。

IWA 5のボトルはマーク・ニューソンによりデザインされました。彼は伝統的な日本酒のボトルに、今までにない深い色味をもたせ、ベルベットのような艶のある質感に仕上げました。酒が注がれる瞬間は、深く暗い影から光が湧き出ているかのようです。書道家 木下真理子とアートディレクター 中島英樹のコラボレーションにより生み出された、白い硝子の層からなる書は、ボトルに躍動感を与え、静と動のコントラストをもたらします。

そして2021年春、世界的建築家、隈研吾によって設計されたコンテンポラリーな酒蔵「白岩」が富山県立山町白岩にオープンします。風景と見事に調和し、その土地と融合するこの蔵は、IWAの中核ともいえる、「分け隔てなく、全てを包み込むような包容力のあるコミュニティの醸成」という理念を体現するものとなります。



IWA 5は完成されたレシピを持たず、実験的なプロセスを辿りながら、少しずつ、絶妙に進化していきます。1年、そしてまた1年と新しい異なった特徴が生み出され、新しいIWAが現れます。

IWA 5は公式ウェブサイト <https://iwa-sake.jp> にて販売、また厳選されたレストランにて提供されます。公式Instagramもご覧ください。<https://www.instagram.com/iwa.sake>

製品に関するお問い合わせ：info@iwa-sake.jp

取材・掲載に関するお問い合わせ：合同会社オープンドア

担当 根道・菅原 info@open-door.jp